

ニューヨークで教会学校再開!



先月のメトロレポートで現地スタッフからの報告を掲載しましたように、ニューヨークでは、この春より道端教会学校が再開されました!この再開の日を待っていたのはメトロのスタッフたちだけではありません。ロックダウン中、支援物資を家々に届けていたスタッフは、たくさん子どもから「いつ教会学校は始まるの!?」「早く教会学校に行きたい!」と、声をかけられていました。

子どもたちに福音が届くように、新たにメトロの道端教会学校に集う子どもたちが起こされるように、続けてお祈りください!

ニューヨーク インターンシップ!

4か月間のニューヨーク夏季インターンシップが開催されます!

ワクチン接種の状況によりますが、日本人で参加をご希望の方は、日本事務所で面接を受けていただきますので、すぐにお申込みください!

日本事務所連絡先は最終ページでご確認ください。



実施期間: 2021年8月24日~12月19日

対象年齢: 18歳以上

必須技能: 英語による十分なコミュニケーション能力

参加費用: US \$1,500

詳細はこちらで
ご確認ください



ブックバッグ支援!

締切り間近です!
7月7日までお待ちしております。

食料品 支援募集!

随時支援を受付中!
どなたでもお申込み可能です。



今月号の目次

P2...メトロと共に歩み、いただいた
神の恵み!

P2...ケニアスタッフが見るスラム
/スラムに生きるということ

P4...日本事務所からのお知らせ

メトロと共に歩み、いただいた神の恵み!

ニューヨークスタッフ シモーネより

これからお伝えするロイ(仮名)の話は特別なケースですが、同時にニューヨークに住む多くの子どもたちの話でもあります。

はっきり覚えてはいませんが、ロイは5歳か4歳のときに土曜日の教会学校の迎えのバスに乗ってくるようになりました。11歳の時、彼はメトロの十代のボランティアのひとりとして奉仕を始め、バスの手伝いをしたり、近所の子どもたちを訪問したりしていました。



少年の頃

成長の過程で、彼自身や家族が命の危険にさらされる瞬間を本当に何度も経験してきました。ギャングがいつも周りにいて、常に彼を仲間に入れようとしてきました。ある日、彼は自分の住むアパートの階段踊り場で死体を見つけました。彼はバスのキャプテンだった私にそれを伝えに来たのですが、それは慰めてほしかったのではなく、私を守ろうと思ったからでした。

彼が住んでいる地域では銃撃事件が多発していて、彼とそのアパートに住んでいる他の子どもたちが生きていられたのは、ただ神の恵みによるのです。



ボランティアとして活躍

ロイは半年早く高校を卒業してまだ20歳ですが、大学での学士号を取得できたのです。これは、その地域では今までに例のないことでした(アメリカの大学は飛び級がありますので、成績優秀な学生は、4年を待たずに卒業資格を得られる場合があります)。

メトロの教会学校の幼い子どもたちは、みんな彼を尊敬していて、彼がバスに乗っているときは、彼の言うことをとてもよく聞いています。近隣では、彼が通りを歩いているのを見かけると、バスに乗っている子どもたちはメトロのスタッフの一人だと思って、彼を指さしてはにかみながら見るのです。



学士号のガウン姿

ニューヨーク学用品支援

ブックバッグお申込み募集中!

1件:4,200円 申込締切り:7月7日(水)

対象は、**6歳(2015年生まれ)以上**のアメリカの子どもです。

アメリカの子どもをご支援の方は、子どもの年齢をご確認ください。

ギャングなどの悪と隣り合わせの生活を送る子どもたちがきちんとした将来の道を歩むためには、教育が必要不可欠です。ぜひご支援をよろしくお願いします!

ブックバッグは、どなたでもお申込みいただけます。



<https://metroworldchild.jp/bookbag/>



勉強に必要な文具が入ったブックバッグ
(イメージ)



締切り
間近です!

メトロ プレゼントを贈る



ケニアスタッフが見るスラム

ジェニー・ステラ



スラム街にある住宅



シートや枝で作った壁



家の中の様子

ケニアのスラム街は、都市や町の最貧困層が住む地区です。貧困に苦しむスラム街の住民たちですが、より良い居住環境へ引っ越すという選択肢などはありません。彼らの多くはスラム街で育ったので、他にいくところがないのです。

また、仕事や住む家を失い、それまでの生活を続けることが困難になってスラム街に移ってくる人もいます。低所得家庭などは強制的に立ち退きを命じられ、これまでの家からスラム街へ追いやられる場合もあります。



この男性はある朝、鍋でお湯を沸かしていました。何も調理するものが無かったにもかかわらず、です。「神様、私は信仰によってお湯を沸かします。今日あなたが調理するものを与えてくださると信じ

ます」。お湯を沸かし続けて、水が蒸発してしまうと水を足し、祈りながら神様が彼の叫びを聞いてくださることを信じました。その日の午後、私たちメトロチームが必要な家庭に食料を配布しており、その男性を見つけて食料を渡しました。彼はすぐに食材を調理し、必要を満たしてくださった神様に感謝を捧げました。



調理場

報告は8月号レポートに続きます。ここでお伝えする現状は、ごくわずかな人が経験していることではありません。今、多くの人が向き合っている現実です。共にお祈りください。

*写真と記事の内容は関係ありません

スラムに生きるということ

ニューヨークのスラムは、私たち日本人から見ると、一見それとはわからない普通の町並みです。家には、テレビや電気製品があり、スマホも持っていてショックを受けます。しかしスラムは、見えないところにあるのです。日本でも問題になっている育児放棄やネグレクト、虐待、アルコールやゲーム、薬物依存などが日常茶飯事の人々や、移民や学歴がなく英語の読み書きのできない人々が集まって住む場所など、広い地域一帯がスラムです。アメリカでも日本同様、特にシングルマザーは、ある程度の保証があり、それがかえって状況を悪くしていることも多いのです。

スポンサーの方と子どもの家庭を訪問した時のことです。日本から本当にスポンサーが尋ねてきてくれて、子どもは大喜び。一緒に住むおばあちゃんも、喜んで感謝してくれました。しかし若い母親は、手にしたスマホから目を離そうともせず、いかにも迷惑そうな様子で、子どもから「日本から来たんだって！日本ってどこにあるか知ってる？」と尋ねられると、「知らない」と一言。自分の楽しみ以外、子どもにも支援者にも何の興味もない、この心こそがスラムを作り上げ、そこから出られなくしていることを痛感しました。



*NYのスラム街で

日本事務所からの重要なお知らせとお願い

！メールアドレスのご登録を！

メトロへのメールアドレスのご登録はお済みでしょうか？ スポンサーご登録時のメールアドレスからアドレス変更をした方は、メトロにメールをお送りください。

ご登録方法

「メール登録【お名前】」という件名で、登録ご希望のアドレスから以下のメールアドレス宛に空メールを送信してください。

metrojapan@mission.or.jp



あわせて、メトロからのメールが受信できるように受信許可設定をよろしくお願ひします。

必ず返信いたしますので、返事が来ない場合は、迷惑メールフォルダをご確認ください。

再引き落としについて！

残高不足等で引き落としができなかった場合は、次月分と合算して再引き落としさせていただきます。

再引き落とし手数料として110円を追加させていただきますので、ご了承ください。

確実に引き落としできるように、お手数ですが、引き落とし日前までに口座の残高をご確認ください。7月の引き落とし日は、7月16日（金）です。

再引き落としについての詳細は、1月号のレポートをご確認いただくか、以下のホームページアドレスをご覧ください。

metroworldchild.jp/2021/information/4151/



スポンサー募集！

現在、日本事務所ではHPからスポンサーのお申込みをさせていただきます。ぜひお知り合いの方にメトロをご紹介します。

メトロ スポンサー申し込み

検索



<https://metroworldchild.jp/apply-for-sponsor/>

また、メトロのことを詳しく紹介したホームページもございますので、ご活用ください。

metrogenerallp

検索



<https://metroworldchild.jp/metrogenerallp/>

なお、必要でしたらメトロの資料をお送りいたします。日本事務所まで必要部数を合わせてご連絡ください。

日本事務所よりごあいさつ！

いよいよオリンピック開催も決まり、ワクチン接種も急ピッチで進められています。皆様の生活はいかがでしょう。アメリカのメトロでは、昨年最悪の状況から抜け出し、働きが元に戻っていますし、私たちも、急に元の生活というわけにはいきませんが、今年は昨年とは違う、生き生きと活動的な夏を楽しみたいものです。

しかし今回の記事にも掲載しましたが、第三諸国の状況は未だ厳しく、スタッフは危険を顧みず日々奮闘しています。どうかスタッフの健康が守られて、子どもたちとその家族の命を守り、魂を救うために最大限の働きができますようにお祈りください。

メトロの働きを忍耐強く支えてくださっている皆様に、主の具体的な守りと恵みが豊かに注がれ、状況が改善されますようにと祈り続けています。

日本事務所代表 万代栄嗣(まんたい えいじ)



メトロ・ワールド・チャイルド日本事務所

所在地 〒104-0061

東京都中央区銀座 4-5-1

教文館 6階 TFC内

電話 03-3561-0174

FAX 089-925-1501

メール metrojapan@mission.or.jp

URL <https://metroworldchild.jp/>



すべてのお振り込みは、下記宛にお願いいたします。

ゆうちょ銀行：一六九店 当座預金 0041610

郵便局：記号番号 01650-3-41610

口座名義はどちらも同じ

メトロ・ワールド・チャイルド・ジャパン